

令和5年度 組織マネジメントシート

部名： 議会事務局

■組織目標(今年度組織が目指す姿)

取手市議会は、コロナ禍において従前の議会運営方法や議会活動にとらわれない未来型の議会の在り方を官民学連携も含め調査研究を行い、ICTを活用した新たな手法・方法を見いだしてきた。これまでの調査研究の成果による安定した議会運営・議会活動を事務局として支援していくとともに、議会に対する市民の理解・関心を高めるための議会情報の積極的な発信等を行い、開かれた議会づくり、新しい議会の形作りへの支援を継続して行っていく。

■組織使命(行政組織の存在意義、本来果たすべき役割)

議会が議決・監視・立法・政策提言機関としての機能を十分に発揮できるように、議会事務局として議会活動の支援・提案を行うとともに、参集、オンラインを問わず安定した議会運営の支援を行う。また、未来型の議会を見据えた議会運営・情報発信の方法・議会事務の方法について官民学連携して調査研究を行い、議会機能の向上と市民への積極的な情報発信に努める。

■組織目標と計画等との関連(位置づけと意味づけ)

①総合計画 基本構想	・ 自主・自立、未来をひらくまちづくり
②とりで未来創造 プラン2020	・ 行政運営の効率化
③個別計画	

■今年度の重点事業(自部署の中で優先順位の高いもの)

項目(何を)	行動アクション(どのように)	目標期限と達成基準
重点事業① 議会運営支援事業	参集・オンラインを問わず安定した議会運営ができるよう事務局職員間で事例研究や調査研究を行う。	令和6年3月(通年事業) 瑕疵のない円滑な議会運営
重点事業② 議会情報発信の充実	議会開会中・閉会中を問わず市ホームページ、Facebookページ、メールマガジンなどデジタルを用いて議会の情報をタイムリーに、かつわかりやすく発信する。また、デジタルの補完として紙によるひびき概要版を発行し広く議会の活動をわかりやすくお知らせしていく。	令和6年3月(通年事業) 閲覧数の増・紙版ひびきの配布
重点事業③ 市民の理解・関心度を高める事業支援	オンラインを併用して市民との意見交換会や中学生との協働事業等から直接議員と対話し議会をより身近に感じていただく。また、対話の中から政策提言につながるような素材を拾い上げ、市民や中学生と一体となった政策提言の支援を行う。	令和6年3月(通年事業) 市民との意見交換会、中学生との協働事業の実施支援
重点事業④ 新しい議会の形作りの支援	官民学連携によるデモテック戦略事業や音声テック協定によるICTを活用した新たな議会運営の取組について、取手市議会から全国の地方議会へと発信していくための支援を事務局として行う。	令和6年3月(通年事業) フォーラム等の開催を通じた外部との知見の共有・完全オンライン議会を想定した標準会議規則案の策定

■職員の育成及び職場活性化の取組み

項目(何を)	行動アクション(どのように)	目標期限と達成基準
情報の共有化を通じた多面的な知識の習得	各職員の主担事務にとらわれることなく、各担当が有する知識や経験を共有化していくことを通じ、バックアップ体制も含めた業務執行体制の構築、職員の知識の深化を図る。	令和6年3月 特定職員のみが対応可能な業務領域の低減

令和5年度 組織マネジメントシート

部名: 議会事務局 課名: 議会事務局

■組織目標(今年度組織が目指す姿)

取手市議会は、コロナ禍において従前の議会運営方法や議会活動にとらわれない未来型の議会の在り方を官民学連携も含め調査研究を行い、ICTを活用した新たな手法・方法を見いだしてきた。これまでの調査研究の成果による安定した議会運営・議会活動を事務局として支援していくとともに、議会に対する市民の理解・関心を高めるための議会情報の積極的な発信等を行い、開かれた議会づくり、新しい議会の形作りへの支援を継続して行っていく。

■組織使命(行政組織の存在意義、本来果たすべき役割)

議会が議決・監視・立法・政策提言機関としての機能を十分に発揮できるように、議会事務局として議会活動の支援・提案を行うとともに、参集、オンラインを問わず安定した議会運営の支援を行う。また、未来型の議会を見据えた議会運営・情報発信の方法・議会事務の方法について官民学連携して調査研究を行い、議会機能の向上と市民への積極的な情報発信に努める。

■組織目標と計画等との関連(位置づけと意味づけ)

①総合計画 基本構想	・ 自主・自律、未来をひらくまちづくり
②とりで未来創造 プラン2020	・ 行政運営の効率化
③個別計画	

■組織が果たす役割(事業・事務ごとに自組織が担っている役割の全体像)

計画 関連No.	事務事業名称	裁量 有無	協働 有無	組織の役割	担当
①	議会運営支援事業	○	×	議会運営、議員活動が適正に行われるよう、その方法等、日々の調査事務を行い、状況に応じた議事運営方法を提供し、円滑・適正な議会運営、議員活動を支援していく。	小笠原 永井 澤田 高橋 柴
①	議会情報発信の充実事業	○	○	ウェブを中心に市民への議会情報の積極的な発信、公開を実施するとともに、紙媒体での補完を併せて行い、議会活動の公開・情報発信に取り組む。	小笠原 永井 澤田 高橋 柴
①	市民の理解・関心度を高める事業支援	○	○	市民や学生等と協働し、議会への理解・関心を高める事業への支援を実施する。	小笠原 永井 澤田 高橋 柴
①	新しい議会の形作りの支援	○	○	官民学連携によるデモテック戦略事業を令和2年度から、音声テック協定を令和3年度からそれぞれ締結して推進している。ICTを活用した新たな議会運営・ルールづくりを支援する。	小笠原 永井 澤田 高橋 柴

■今年度の重点事業(自部署の中で優先順位の高いもの)

項目(何を)	行動アクション(どのように)	目標期限と達成基準
重点事業① 議会運営支援事業	議会事務局職員間での日頃からの事例研究や情報共有、ICTを活用した会議の手法の調査研究を通じ、参集・オンラインを問わず、安定した議会運営、議会権能の維持向上のための事例研究や調査研究に取り組む。また、令和6年2月に現在の議員任期が満了となることを踏まえ、新たに議員となった議員のサポートも含め、改選後の議会運営・議会活動に停滞が生じないように支えていく。	令和6年3月(通年事業) 瑕疵のない円滑な議会運営
重点事業② 議会情報発信の充実	継続的な取組として、議会開会中・閉会中を問わず、市ホームページ、Facebookページ、メールマガジンといったデジタル媒体を中心に、議会の情報をタイムリーに、かつわかりやすく発信する。また、デジタル媒体の補完として、紙媒体でひびき概要版を発行し、議会の活動をわかりやすくお知らせしていく。	令和6年3月(通年事業) 閲覧数の増・紙版ひびきの配布
重点事業③ 市民の理解・関心度を高める事業支援	オンラインを併用しながら、市民や学生と議員等が直接に対話する機会を創出することを通じ、議会をより身近に感じられる取組を進める。また、その対話の中から政策提言につながるような素材を拾い上げ、市民や学生と一体となった政策提言へつなげる支援を行う。	令和6年3月(通年事業) 市民との意見交換会、中学生等との協働事業の実施支援 意見交換会は5月及び11月頃に実施予定。中学生等との協働事業は学校予定との調整の上実施していく。

重点事業④ 新しい議会の形作りの支援	官民学連携によるデモテック戦略事業や音声テック協定によるICTを活用した新たな議会運営の取組について、取手市議会から全国の地方議会へと発信していくための支援を事務局として行う。また、将来的なオンラインによる本会議運営を見据えた際に必要となる会議規則等の在り方についての調査研究に引き続き取り組む。	令和6年3月（通年事業） デモテック推進フォーラムの開催等を通じた外部との知見の共有・完全オンライン議会を想定した標準会議規則案の策定 フォーラム等事業の実施は10月ないし11月を目途に実施
-----------------------	--	---

■業務プロセスの改善(一課一改善以上の取組み)

項目(何を)	行動アクション(どのように)	目標期限と達成基準
ICTも活用した議会運営・業務方法の充実向上	ICTも活用しながらの議会運営を安定的に行っていくため、局職員個々のスキルアップ局内勉強会等を実施する。	令和6年3月 1時間以内でのオンライン委員会及びオンライン本会議のセットアップが可能な体制

■職員の育成及び職場活性化の取組み

項目(何を)	行動アクション(どのように)	目標期限と達成基準
情報の共有化を通じた多面的な知識の習得	各職員の主担事務にとらわれることなく、各担当が有する知識や経験を共有化していくことを通じ、バックアップ体制も含めた業務執行体制の構築、職員の知識の深化を図る。	令和6年3月 特定職員のみが対応可能な業務領域の低減

■ニーズの把握と成果の検証、評価を把握する取組み

項目(何を)	行動アクション(どのように)	目標期限と達成基準
市民や議会事業参加者意識の把握と改善	市ホームページや市議会Facebookページなどへの意見、各種事業参加者に対するアンケート調査により、事業効果や改善点を見出していく。	令和6年3月 事業実施後にアンケートを実施し、集計結果を市ホームページ等で公表